

2024年度 研究プロジェクト

タイトル

20世紀前半の東アジアにおける言語運動と計画言語エスペラント

教員名

総合理工学科 電気電子システム系 角谷 英則

研究内容

公正で十分なコミュニケーションがとれない状況におかれた人々、たとえば障害者・非識字者・少数言語話者・移民などのマイノリティを多く含む情報弱者が社会的に排除される現象にいかに対処すべきか。現在、そのこたえとしての情報保障の必要性はひろく認知されるようになってきている。そうした情報保障を異言語話者間コミュニケーションにおいて実現しようとしたのが計画言語エスペラントを教育・使用・普及する運動である。かつて、学習の容易なエスペラントによる国際コミュニケーションの平等化・民主化とそれによる「世界平和」の実現がその目標として謳われた。しかし、第二次大戦中のある時期には、エスペラント運動における教育・普及の目的は、一時的であれ大きく変質した。それらの運動団体は戦時下でファシズム体制と連携し、政府の下請け組織となったのである。この一見矛盾してみえる現象を、言語教育運動の思想的背景にまで遡って再構成し、現代の言語教育観を検証するための参照枠として提示することを本研究はめざしている。